

北海道・北東北の縄文遺跡群を世界遺産に!!

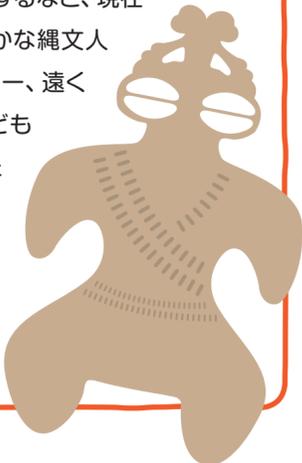
世界に誇る縄文文化

今からおよそ1万5千年前、氷河期の終わりとともに旧石器文化は終わり、日本列島では縄文文化が始まりました。縄文文化は、およそ2,300年前に本格的な稲作とともに弥生文化が始まるまで続いた日本特有の先史文化です。

世界の他の地域の新石器文化は農耕・牧畜を生業の基盤としていますが、縄文文化は、狩猟・採集・漁労により定住生活を達成し、人々が自然とともに生き、様々な環境変動にも適応しながら1万年以上も続いた、世界でも珍しい歴史ある文化です。

縄文遺跡を調べると、クリやクルミ、魚の骨、貝がらなどが多く見つかります。当時の人々は、季節の移り変わりとともに、自然の豊かなめぐみを計画的に取り入れて暮らしていました。

また、土器の出現とともに始まった縄文文化は、弓矢を発明し、動物の骨で銚や釣り針を作り、漆を採取・彩色して使用するなど、現在にもつながる道具や技術を発展させました。豊かな縄文人の心を表す土器や土偶、貝やヒスイのアクセサリ、遠くのムラとの交流を示す黒曜石やアスファルトなどもみつかっており、縄文文化は精神的にも発達した文化であったことがわかります。



縄文土器
透光器土偶

北海道・北東北の縄文遺跡群を世界遺産に

日本の歴史と文化の成立を知るための貴重な縄文遺跡を、人類みんなの「たからもの」として未来へ引き継いでいくために、青森県では関係自治体と連携し、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録をめざして取組を進めています。

本カレンダーは、「伝えたい“縄文の魅力”」をテーマに青森県内の児童・生徒のみなさんよりご応募いただいた223作品の中から、審査により選ばれた優秀賞6作品を原画に作成しました。子どもたちの伝えたい縄文の魅力を、どうぞご覧ください。



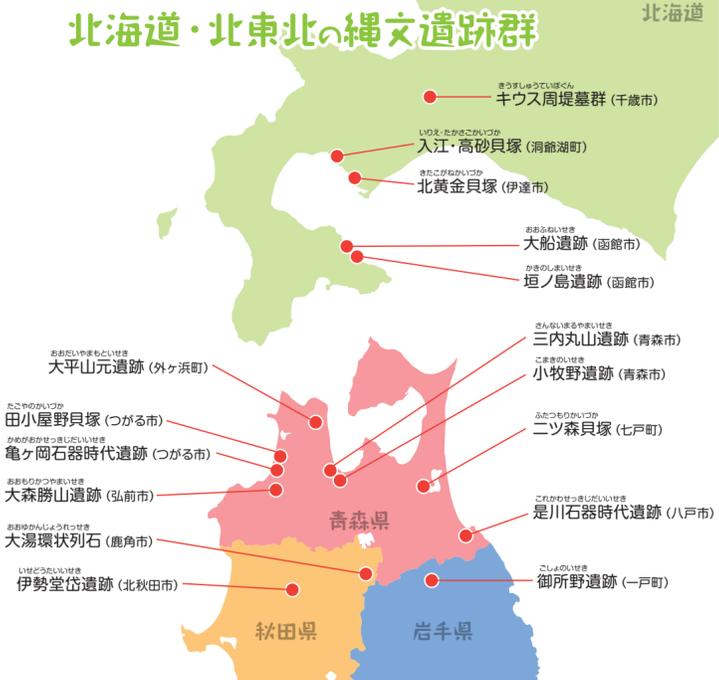
北海道・北東北の縄文遺跡群は... 縄文遺跡の宝庫!!

北海道・北東北の4道県には、日本全国の縄文遺跡のうち約2割が分布しています。世界遺産の白神山地や知床など、今も豊かな自然が残るこの地域には、保存状態がよく、先人たちの知恵や工夫を現在に伝える、とても価値の高い遺跡が数多く残されています。

縄文遺跡のうち、学術上・歴史上の価値のある遺跡を「史跡」に、史跡のうち学術上の価値が特に高く、日本文化の象徴と言えるものを「特別史跡」に国が指定します。

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、特別史跡三内丸山遺跡や特別史跡大湯環状列石を含む16の特別史跡・史跡で構成されています。

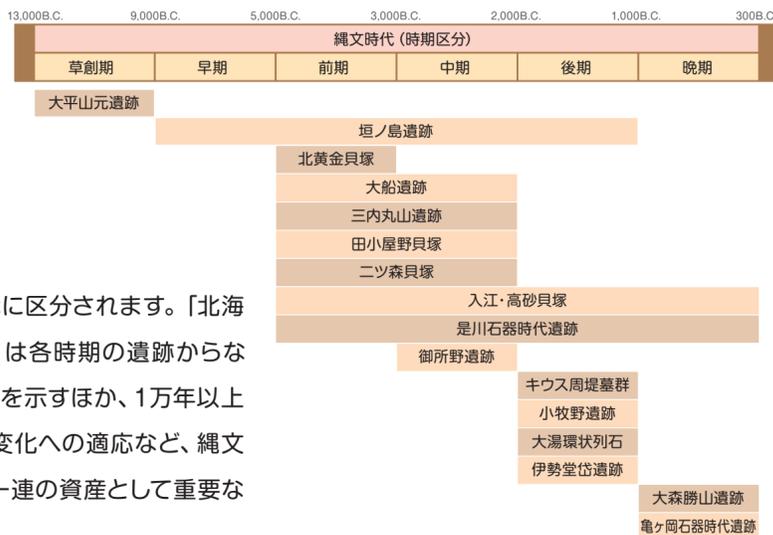
北海道・北東北の縄文遺跡群



北海道・北東北の縄文遺跡群は... 1万年のストーリーを物語る!!

縄文時代は、6つの時代に区分されます。「北海道・北東北の縄文遺跡群」は各時代の遺跡からなり、それぞれの時期の特徴を示すほか、1万年以上続いた縄文文化の環境の変化への適応など、縄文文化の発展の様子を示す一連の資産として重要な役割を果たしています。

縄文遺跡群 時期区分



北海道・北東北の縄文遺跡群は... 縄文文化を学ぶタイムカプセル!!

誰もが縄文文化に触れ、楽しみ、学ぶことができます。日本の歴史を知る上で欠かすことのできない「北海道・北東北の縄文遺跡群」に、ぜひお出かけください。

縄文時代の北海道・北東北では同一の文化圏が形成され、発展し、優れた文化を育んできました。「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、その地域の人々の生活を示す集落跡などの遺跡や、まつりや精神的活動を示す環状列石などで構成されています。

これらの遺跡の多くは遺跡公園として保存・活用されています。資料館や博物館に出土品を展示し詳しく解説するほか、土器作りなどの体験メニューも豊富で、

